

別紙 「平成30年度 学力向上アクションプラン」

足立区立花保小学校 校長 半田 英雄

	新 継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標 (=数値) <いつまで・何を・どの程度>
1	継 続	朝学習 (パワーアップタイム)	全児童 国語 算数	毎週水 (漢字) 毎週木 (算数)	【指導者体制】担任 【取り組みのねらい・目的】学習内容の復習・基礎学力の定着 【使用教材】漢字プリント、東京ベーシック診断シート・次へのステップ・その他計算等のプリント学習	東京ベーシック診断シート、及び次へのステップなどのミニテストを実施。	年度末までに東京ベーシック診断シートで正答率100%、毎回のミニテストで正答率80%以上の結果。
2	継 続	朝学習 (パワーアップタイム)	全児童 国語	毎週火 (読書)	【指導者体制】担任 【取り組みのねらい・目的】読書に親しむ。読む力を伸ばす。月に1回きょうだい学級での読み聞かせ交流を行い、相手意識をもって本を選び、読む機会を設ける。		
3	継 続	花保ステップタイム	全児童 国語 算数	毎週水5校時	【指導者体制】担任・副担任の専科教員 【取り組みのねらい・目的】学習内容の復習・基礎学力の定着 【使用教材】漢字プリント、東京ベーシック診断シート・次へのステップ・その他計算等のプリント学習	東京ベーシック診断シート、及び次へのステップなどのミニテストを実施。	年度末までに東京ベーシック診断シートで正答率100%、毎回のミニテストで正答率80%以上の結果。
4	改 善	放課後学習	全学年 国語 算数	週1回	【指導者体制】担任 【取り組みのねらい・目的】学習内容の復習・基礎学力の定着が十分でない児童の個別指導を行う。 【使用教材】漢字プリント、東京ベーシック診断シート・次へのステップ・その他計算等のプリント学習	東京ベーシック診断シート、及び次へのステップなどのミニテストを実施。	年度末までに東京ベーシック診断シートで正答率100%、毎回のミニテストで正答率80%以上の結果。
5	継 続	放課後補習	全学年 国語・算数 学力調査正答率 30%以下の児童	家庭訪問期間 (3・4・5年) 三者・個人面談 期間 (1・2・ 6年)	【指導者体制】管理職・算数少人数・専科教員・講師など 【取り組みのねらい・目的】個々に必要な課題を担当と相談し、プリントなどで補充指導する。 【使用教材】国語・算数のプリント学習。	プリントを担当に見せて、理解の状況を伝える。	個々の課題のプリントで正答率10ポイント改善。

6	継続	夏季チャレンジ教室	全学年 国語・算数 学力調査正答率 50%以下の児童 各学年10名程度	夏季休業日中の 10日間	【指導者体制】全教員で分担 【取り組みのねらい・目的】基礎学力の定着と学力調査結果から分かったつまずきを改善し、学力向上を図る。 【使用教材】個々の課題に合わせたプリント・次へのステップ・学力調査の補充問題・夏休みのドリルなど	夏休み終了後の確認テストを実施。	夏休み終了後の確認テスト正答率10%アップ
7	継続	夏季自主学習教室	全学年 国語・算数 学力調査正答率 50%以上の児童	夏季休業日中の 10日間	【指導者体制】全教員で分担 【取り組みのねらい・目的】児童一人一人が自分の課題に合わせて学習する時間を確保し、わからないときなどは指導助言する。 【使用教材】次へのステップ・学力調査の補充問題・夏休みのドリル、その他自分で用意した問題集など	夏休み終了後の確認テストを実施。	夏休み終了後の確認テスト正答率10%アップ
8	改善	家庭学習	全児童	毎日	【取り組みのねらい・目的】4月当初、児童に「家庭学習の手引き」を渡し家庭学習の仕方について指導する。また、年度初めの保護者会で保護者にも「家庭学習の手引き」を渡し説明して協力を依頼する。	宿題提出状況を担任が記録。	宿題提出率90%目標
9	継続	九九検定	2学年以上の全児童	12月～2月	【指導者体制】管理職・算数少人数担当2名・学習支援員1名 【取り組みのねらい・目的】学習の基礎となる九九を習得させるために毎年100秒以内で暗唱させる。各学年2週間のうちに検定を受ける。	各学級で担任が合格した児童を記録。	全員合格。
10	改善	パンダとショッカーの漢字テスト（校長と副校長）	全児童	毎月1回 （4月・10月・3月を除く）	【指導者体制】管理職・学習支援員・担任 【取り組みのねらい・目的】5・6・7・9月は前学年の漢字復習、11・12・1・2月は現学年の漢字復習をして、月1回確認テストを行い、基礎学力の定着を図る。 【使用教材】プリント教材	全問合格した児童に賞状を渡す。	通過率90%目標